

総会報告

日時 2016年6月26日(日) 10:00～12:00
会場 塩屋地域福祉センター
出席者 27名

※以下、すべての審議事項について承認されました。

2015年度事業報告

- 地域資源の保存・共有・継承活動
「塩屋見聞録 1955-2015」の作成
- 塩屋景観ルール「しおや景観ガイドライン」の検討
- 自然環境保全・共生活動
塩屋谷川の清掃(毎月1回)、川まつりへの参加
- コミュニティバス導入に向けた検討
- 防災・減災マップづくり「しっとく塩屋」の作成
- 都市計画道路・塩屋多井畑線の整備について検討
- 気軽に参加できる場の提供
「しおやまち縁カフェ」の実施(毎月1回)

2015年度収支決算報告

＜収入の部＞		
科目	決算額(円)	摘要
街づくり助成金	300,000	街づくり助成金
繰越金	79,336	前年度繰越金
寄付	5,780	寄付
事業収益	15,134	川まつり寄付
利息	17	利息
合計	400,267	
＜支出の部＞		
科目	決算額(円)	摘要
【印刷費】		
ニュースレター No.23	70,092	ニュースレター印刷代
まち縁カフェ	12,000	4/25、12/19 ビラ印刷代
まちあるき	50,286	5/9、9/26、11/28 ビラ、マップ印刷代
定例会等資料	110,000	定例会資料、大判資料、総会資料印刷代
案内状等	6,950	市議員への案内、総会案内、行事ポスター印刷代
【通信費】		
配布料	10,000	ニュースレター配布料
郵送費	910	書類郵送費、市議員案内郵送費
【事業費】		
会場使用料	12,000	まち縁カフェ会場費 12回
イベント時保険料	3,250	5/9、9/26、11/28 まちあるき用
【事務費】		
備品等	24,512	のり代 コピー用紙代 封筒代 インク代 名刺用紙代 印刷用紙(イエロー) ラミネートフィルムA3、A4 資料保存用HDD 資料保存用SDHCカード
次年度繰越金	100,267	
合計	400,267	

2015年度特別会計(魅力アップ活動助成)決算報告

＜収入の部＞		
科目	決算額(円)	摘要
助成金交付申請額	182,522	
自己資金	3,000	
合計	185,522	
＜支出の部＞		
科目	決算額(円)	摘要
講師謝礼	16,500	講師11名×¥1,500
場所代	6,000	「しおやと」、「TRUNK DESIGN KOBE SHIOYA」場所代
記録費等	1,480	メディアSDHCカード
マップ経費	156,600	マップ作成・印刷費 600部
雑費	4,942	コピー、交通費、資料代
合計	185,522	

役員の変更

会長 原田幸男(塩屋町9丁目)
副会長 松本徹(塩屋町1丁目) 森本アリ(塩屋町3丁目)
会計 西村文夫(塩屋町3丁目) 寺岡佐和子(塩屋町5丁目)
事務局長 信森徹(塩屋町3丁目)
幹事 中塚信昭(下代) 寺岡宏治(塩屋町5丁目)
安田誠子(塩屋町3丁目) 河谷有美(塩屋町8丁目)
監査 恩田怜(塩屋町2丁目) 白國高太郎(松風台)

2016年度事業計画

【地域のまちづくりの研究及び協議】

・誰でも自由に参加し意見交換ができる場として、「定例勉強会」を月2回開催します。また、推進会の活動内容について知ってもらうように努め、地区住民等の参加を広く呼びかけるとともに、活動に主体的に関わることでできる人材の育成に努めます。

【まちづくり構想の具体化】

・「誇りを持って愉しく住み続けられる」まちの将来像をとりまとめた「まちづくり構想」の具体化を図ります。また、新たな課題を再確認し、次期まちづくり構想の提案に向けた検討を進めます。

【まちづくりルールの策定】

・「歴史・地域文化・自然環境」を地域資源として改めて探り、共有し、それらを守り、育てるための「(仮称)しおや景観ガイドライン(案)」を策定します。またそれを踏まえた地区計画やまちづくり協定等による制度化を検討します。

【まちづくり構想に基づくものづくりの推進】

・都市計画道路・塩屋多井畑線に関して、「提案書」「再提案書」に基づいて、引き続き神戸市との協議のもと、整備を推進します。
・「駅前～小学校」および「大谷交差点周辺」を対象とした将来イメージ(案)をまとめます。

【まちづくりに係る情報共有のための活動】

・ニュースの発行および掲示板・ウェブサイトの活用により、会の活動やまちづくりの情報を発信・共有します。また、まちづくりのテーマに沿った継続的なイベント等を通じて推進会をPRするとともに、活動への理解と参加を促します。
・塩屋ふれあいのまちづくり協議会と連携し、防災・減災マップを作成します。またそれをまちあるき等に活用し、普及・啓発に努めます。

【その他の事業】

・他団体・他地域とも連携しながら、「塩屋コミュニティバス」の見極め運行を実施し、さらに、本格運行に向けた取り組みを進めます。
・地域のイベントや伝統行事と連携し、人と人との交流を促進します。
・自主財源の確保をすすめます。

2016年度収支予算

＜収入の部＞		
科目	金額(円)	
まちづくり活動助成金	300,000	
繰越金	100,267	
事業収益	10,000	
合計	410,267	
＜支出の部＞		
科目	決算額(円)	
【印刷費】		
ニュースレター発行(2回)	140,000	
総会資料	8,000	
部会活動ビラ、資料等	80,000	
【通信費】		
ニュース等配布料(2回)	60,000	
【事業費】		
まち縁カフェ会場使用料(12回)	12,000	
【事務費】		
事務用品費 他	10,000	
予備費	100,267	
合計	410,267	

※詳細は、塩屋まちづくり推進会ウェブサイト参照

<http://shioyamachisui.web.fc2.com/>

これまでの活動や現在のとりくみについて随時更新中!

contents

- ・真鶴訪問記
- ・塩屋景観ガイドライン検討のようす
- ・塩屋見聞録II 塩屋オリエンタルホテル
- ・コミバス「しおかせ」見極め運行開始
- ・しおや浜・海上イベント 2016 開催報告
- ・総会報告

真鶴訪問記

神奈川県西端、静岡県との県境に「真鶴」という町があります。熱海-湯河原-真鶴-小田原と東海道線の駅は並ぶので駅名をご存じの方も多いかもかもしれません。実は「塩屋まちづくり推進会」の勉強会では度々話題になっていた町です。それは真鶴の海と山が急激に接するすり鉢状の地形が塩屋に似ていることと、真鶴町がその類い稀な自然環境と住環境を守る為に「真鶴町まちづくり条例|美の基準」というものを90年代に策定しそれを守り続けているからです。

「塩屋と真鶴が似ている」ひょんなことから真鶴と塩屋を比較する企画が東京の雑誌の編集部で立ち上がりました。そして7月に数日間、交換留学的に真鶴から「真鶴出版」川口くんが塩屋に、僕が真鶴に滞在しました。(その様子は、8月発売の月刊「ソトコト」(木楽舎)2016年9月号にて



Shioya
Machizukuri
NEWSLETTER

塩屋による塩屋のためのまちづくり
2016
Summer
No. 25

塩屋まちづくり推進会 編集/発行

会長: 原田幸男 (078-752-9526)
問合せ: shioya_machizukuri@yahoo.co.jp
ウェブ: <http://shioyamachisui.web.fc2.com/>



特集されています)なるほど、真鶴は塩屋にとっても似ていました。山、海、漁港、路地、狭い階段に細くて急な坂...そしてそこには塩屋以上に豊富な緑と塩屋以上に残された素晴らしい住環境と生活がありました。そして大きな建物が圧倒的に少ない。リゾート地としての開発に背を向け「美の基準」を楯に開発の抑制をしたところに由るところは大きい。

私達も「塩屋まちづくり条例」の策定に向けて勉強会を重ねています。興味のある方「塩屋まちづくり推進会」の勉強会を覗いてください。どなたでも大歓迎です。真鶴の方々を招いてお話を聞く機会も近い将来設けます。面白いことに真鶴にとっては若い移住者やクリエイターの多い塩屋もまたひとつのモデルになっています。真鶴の人が既に塩屋散歩に訪れたりしていたのです。2つの町の交流はこれからも続きそうです。ああ、早くまた真鶴の町を散歩したい。(森本アリ)

あなたの参加がこの街を変える。

しおや景観ガイドライン作成中 意見百出！



塩屋の景観のなにを？どのように？守るか、について「眺望・地形」「対話・界限」「個性」の3つのカテゴリごとに写真を眺めながら自由にコメントを出し合いました。参加者の年齢も性別もさまざまな推進会の場では、同じ写真であってもいろいろな意見が飛び出します。それらをもとに、現在、具体的な指針を検討中です。



塩屋見聞録II：塩屋オリエンタルホテルの位置が確定

昨年度発刊された塩屋見聞録 1955-2015 をもとにして、当時のエピソードをたくさんの方々から聞き取ることを旨とした徹公の部屋を引き続き開催している。今年度は塩屋駅周辺の商店街の廻りと国道沿いの昔の風景を伝えることができると考えている。現在よりもたくさんの商店が軒を連ね、国道にはあまり車も通っておらず、こどもたちが広い道路で遊ぶこともできたそうだ。そういったリアルな生活感を地図を通して甦らせることができたらと思っている。

平行して前号の課題となっていた、明治後期に建てていたとされる海岸沿いの塩屋オリエンタルホテル

シーサイドビラの敷地の位置確認を、塩屋の海から観察することができた。当時の古い絵葉書を手掛かりとして、変化することのない山並みの稜線を探りながら海から写されたアングルと同じ場所を特定できた。現在の第一と第二シーサイドパレス塩屋の建設前が、ジェームス街外国人賃貸住宅1-4号館であり、さらにそれより以前が塩屋オリエンタルホテルであったようだ。ホテルの跡地を E.W. ジェームス氏が購入して、最初の賃貸住宅を建設したことを考えると、塩屋の奥深い西洋館の歴史にさらに魅せられていく。(寺岡宏治)

●塩屋オリエンタルホテル 敷地位置

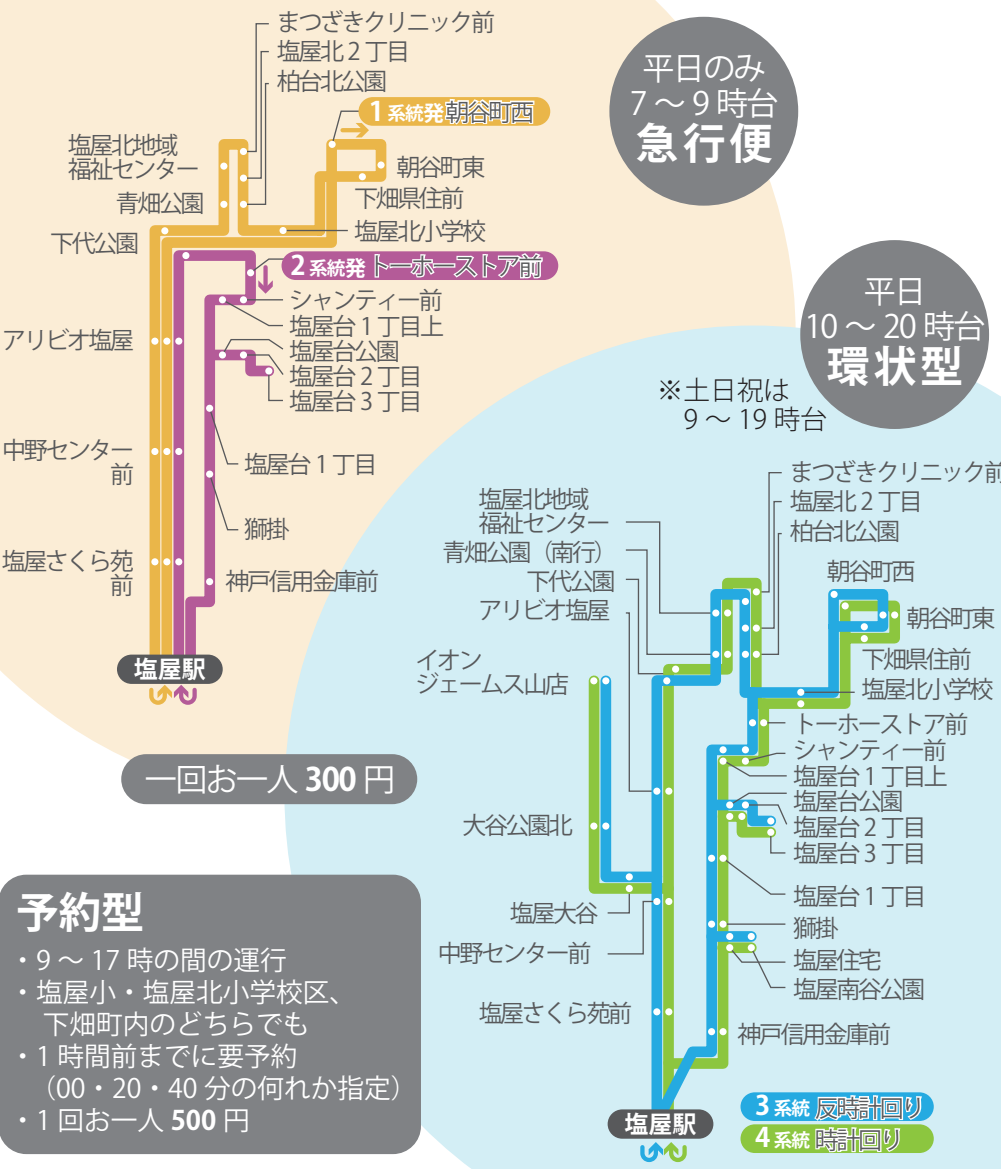


塩屋オリエンタルホテルシーサイドビル絵葉書（明治末） 塩屋の現在 海西側から 2016.7.24

塩屋コミュニティバスしおかぜ見極め運行 始まっています

塩屋コミュニティバス「しおかぜ」は、2～4月末までの試験走行を経て、当初の目標よりも大変遅くなって申し訳ありませんでしたが、ようやく9月1日より、見極め運行として再開できる運びとなりました。分かりづらかった従来の6路線を見直し、7～9時台は、急行便として、塩屋駅と朝谷町を結ぶ東路線・西路線を運行、10～20時台については、時計回り・反時計回りで、各停留所を結ぶ環状型のルートで、1時間に2本運行いたします。

見極め運行は二ヶ月間行います。この期間に沢山の方にご利用頂き、その後の本格運行に繋がりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。又現在、塩屋コミュニティバスを走らせる会では、広報誌「しおかぜ便り」の発行や配布等の財源が足りない為、各自治会や団体の皆様に協賛金のお願い、並びにしおかぜ便りや時刻表へのスポンサー掲載募集も合わせて行っております。こちらの方も何卒よろしくお願いたします。(原田幸男)



しおや浜・海上イベント 2016 を開催しました

今回で20回の節目を迎えた「しおや浜・海上イベント 2016」は、午前にはゴムボートレースと綱引きが行われ、熱戦に次ぐ熱戦が繰り広げられました。午後には、子供たちのスイカ割に、親たちは過激な盛りを見せました。

海と魚のふれあい体験は、魚やタコが体の周りを泳いだり、腕や足に吸い付いたりするのを面白がったり泣いたり大騒ぎでした。お土産のタコをそれぞれもらって自慢げでした。

垂水区長も開会の祝辞を述べ、500人以上の参加で、楽しい一日を過ごしました。(松本徹)



7/14